

## ヤマシナ協力会総会&安全大会開催！

11月18日、“ホテルルミエールグランデ流山おおたかの森”にて、ヤマシナ協力会総会・安全大会及び懇親会を開催いたしました。

コロナ禍でもあり、この時期のリアルでの開催は3年振り。外気を取り入れての換気や消毒・体温計測など、会場の準備には細心の注意を払いました。協力会総会では、任期满了による三役の役員交代や今後の協力会の課題を、安全大会では、職人様・メーカー様・商社様と健康管理、安全作業基準に関する知識を深めました。やはり、弊社はただ工事してお客様へお引渡しするのではなく、材工でたしかな品質をご提供することで、お客様に喜んでいただく会社であることを再認識いたしました。今後も四方良し(お客様・メーカー商社様・職人様・ヤマシナ)を目指していかなければと感じました。その後はこちらも3年振りとなる懇親会を執り行いました。未だWithコロナであり、以前のように盛り上がることもできませんが、久しぶりに食事をしながらのコミュニケーションやビンゴ大会などの催しもあり、みなさんに楽しんでいただけたようです。

まだまだ予断を許さない状況は続きますが、今後もしっかり安全・安心に気をつけながら、お客様に喜んでいただけるよう活動していきます。

横浜営業所  
木部二郎



## 「住まいの断熱」に関する意識調査実施

LIXIL 船橋住設営業所 粕谷祐樹

LIXILは全国の20代～50代、4,700人を対象に、住まいの断熱に関する意識調査を実施しました。約5,000万戸ある既存住宅をみると、高断熱の住まいは10%にとどまり、90%が低い断熱性能、または無断熱であるという現状がわかりました。

### <調査結果>

#### ① 比較的温暖な西日本エリアは「断熱」の認知が低い

冬季の在宅中平均居間室温の調査では、特に西日本エリアほど室温が寒く、約7割がヒートショックを住まいの断熱で低減できると知りませんでした。

#### ② 寒さを感じる場所、1位「トイレ」、2位「浴室」、3位「洗面所(脱衣所含む)」

リビングとトイレの温度差は昔の家になるほど大きく、昔の家(S55年基準)の場合、居間とトイレの温度差は12.1℃、今の家(H28年基準)では9.6℃と、いずれも10℃近い温度差があります。

#### ③ 冬の住まいの寒さ対策、1位「スリッパをはく」、2位「暖房の2台つかい」、3位「ひざ掛けを使う」

断熱リフォームなど省エネ性能を向上することで「節電」「節ガス」しながら住まいの快適も向上させます。

#### ④ 約8割が現在の住まいで寒さを感じながら冬を過ごす一方、断熱リフォームをしたことがある、検討したい人は約1割

自宅での寒さを感じながらも断熱リフォームには至っていない、という実態もわかりました。

### 節電のポイントは窓など「開口部」

冬の暖房時の場合、58%の熱が窓やドアといった開口部から出入りしています。そのため、窓の部分断熱も非常に効果的。1日で設置ができる内窓インプラスなら断熱材の役割を果たし冷暖房費を節約することができます。



### わたしのオススメ



My favorite store is KIDOKIDO

私のオススメはららぽーとTOKYO-BAYにある親子の室内遊び場「キドキド」です。もうすぐ2歳になる暴れん坊の息子がいるのですが、悪天候だったり真夏は外で遊ばせることができなかったため室内型施設で遊ばせるようにしていました。このような施設はショッピングモールなどによくありますが、このキドキドは海外製おもちゃを販売しているポーネルドという会社が提供する施設のため、不思議なおもちゃが多く好奇心を刺激します。また厳選した遊び道具の販売所がキドキドに隣接しているので、子供が興味を持ったおもちゃをその場で購入することもできます。他にも、施設内に常時遊びのサポートをしてくれるスタッフがいたり、ころも・頭・からだの全部を使うたくさんの遊びができるため、子供の成長をより一層感じられるだけでなく大人も一緒に楽しめます。いつも気付くとあっという間に時間が過ぎていきます。6ヶ月から12才まで遊べるので、ぜひ、お子様と遊びに行ってください！

